

エが 第356号 公民館報

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,830	世帯
人口	3,837	人
男	1,855	人
女	1,982	人

(令和7年1月1日現在)

祝 二十歳になられた皆さま おめでとうございませう!



新二十歳の方からメッセージを寄せていただきました。

ジャッキー

兄のような人になりたい。

降旗 陸

沢山の人に信頼される保育士を目指し、社会人の一員として責任を持って過ごしていく。

匿名M

社会人としての責任をしっかり抱えながら東京でも頑張りたいと思います。

松村 すず

何事に対しても、理解することを諦めない人になりたいです。

堀内 宏樹

20歳になったので、一つ一つの言動に責任を持ち行動したい。

清野 宙

これから社会人になるので社会に出るという自覚を持ち、社会に貢献していきたいです。

令和6年度に二十歳を迎えた若者を祝う松本市主催の「ハタチの記念式典」が1月12日(日)にキッセイ文化ホールで開催され、四賀地区からは14名の方が参加し節目の年を祝いました。彼らが生まれた平成16年度はYouTubeが始まった年。生まれたときからネットに親し

む新世代として育ってきました。その後の東日本大震災やコロナ禍など幼い頃から社会の荒波を受けてきた世代でもあります。日本は大きな転換期を迎えつつありますが、若さは希望の象徴です。故郷で育んだ愛と勇気を持って未来へ羽ばたいてほしいと思います。今後のご活躍を地元より熱く応援しています。頑張れ!

1年の始めの書き初め教室

1月5日(日)に支所で開催され、午前午後の部に分かれ、小中学生13名が参加しました。

講師の小峰眞佐子さんの指導を受けながら、皆集中して筆を運びます。小学生は課題の語句を、中学生は自分で選んだ四字熟語に挑戦です。何度も書き直ししながら納得の一枚を書き上げていました。

1年越しそばを打ってみよう

12月21日(土)に恒例のそば打ち講習が行われ、17名が参加しました。今年初の試みでマレットゴルフ連盟との共催となりました。講師を務めた川窪弘一郎さんはこの日のために信州そば道場に5回も通って準備をしてくださったそうです。



大手公民館との交流会

12月6日(金)開催。市内から11名の方が会田の畑に集まり、大きく育った野沢菜の収穫体験を楽しみました。それぞれ1把ずつ持ち帰り本漬けに挑戦すること。冬本番の今頃はおいしく漬かっていることでしょう。

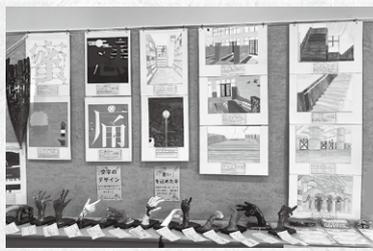
初めて四賀を訪れた男性は「トンネルを越えると空気が違いますね」と里山の澄んだ空気も堪能していました。収穫体験の後は坊主山クラインガルテンに移動して、地区民が打った新そばを食べながらおしゃべりに花を咲かせ交流を深めました。



四賀地区文化祭

11月16日(土)～17日(日)に支所、ピナスホール内外で開催。地区内のサークルや児童生徒、福祉施設の利用者などが製作した作品の数々が展示されました。新そば祭りやバザー、飲食の販売もあり、昼ごきには多くの人でにぎわいました。

今年初めて行ったスタンプリーは子どもたちに人気でした。



第20回 生涯学習フェスティバル

地区のサークルが日頃の活動の成果をステージで披露する発表会。11月17日(日)にピナスホールで文化祭と同時開催されました。

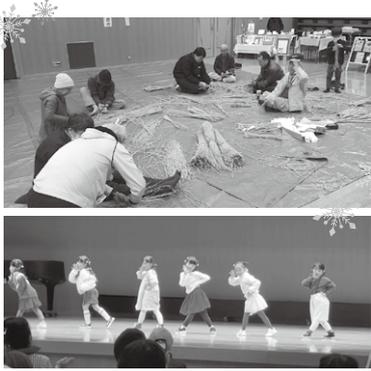
大正琴、おはなしの会、ハンドベル、詩吟、日舞の演技のあと、「つむぎちゃん劇団」が登場。方言を交えて笑わせながら特殊詐欺防止の啓発劇を熱演しました。最後は四賀混声合唱団が来場者と一緒に「東風吹く野辺に花の咲く」を歌い上げ、フェスティバルは幕を閉じました。



冬の大結ぶ市 クリスマスマス市

地元の方にもお馴染みになってきた大結ぶ市のクリスマスバージョン。今年も小舞う12月14日(土)に開かれました。キッチンカーやフード、ドリリンク、ワークショップなどの出店がならび多くのお客様でにぎわいました。

ピナスホールではしめ縄飾り体験学習会も行われ、名人の手ほどきで正月に向けたわら細工を楽しみました。ホールでは子どもたちの太鼓やダンスも披露され、家族連れが熱心に見学。笑顔あふれる一日となりました。



湧き水

▼2025年1月にイトーヨーカドー南松本店が閉店しました。2月末には松本パルコが、3月末には井上駅前本店が営業を終了します。ともに設備の老朽化や周辺大型店との競合が理由とされます。全国的にも地方の百貨店の閉店のお知らせを見かけます。▼学生の頃は松本駅から自転車で通学していたので、帰り道の途中でパルコや井上に寄り道したのを思い出します。パルコでは地下の書店で大学入試の過去問題集を買いました。井上には屋上に遊園地の名残のゲームコーナーがあり、友達と遊びました。あれから数十年が経っているのに随分松本市内の様子も変わりました。今の高校生はイオンモールで寄り道しているのでしょうか。▼平成の大合併以降県内でも銀行やJA等で統合や縮小が相次ぎ、これからも続いていくでしょう。四賀地区も出生数、人口共に減少し施設や団体の統廃合が進んでいます。▼これまでの活動内容を見直す過渡期にあると思います。皆で考え、過疎化の受け入れができれば良いかと思えます。